

社宅モービル・キャビン オレ達もキャノン・ボール・ラン



選れたチューナーの集った顔が、長旅の疲れを癒す、アパナイOPTサービス隊。

チューナーより先に現場が使命、のオフショール移動マシン。ノンストップで常に先回り、チェックポイントで待ち構える時が快感。

ルート

仙台→エビス

消費燃料

1	ブリッツ	10Q	燃費12、またもや1位
2	Dai	10Q	走行距離がブリッツより短く2位
3	HKS関西	12Q	5速5500rpmで走行中
4	圭オフィス	13Q	眠気に燃費運転に徹する
5	マインズ	14.2Q	GT-Rで5位、立派
6	レイズ	14Q	順位不動
7	ガレージ横井	—	オドメータ戻し間違え
8	エスプリ	—	リタイヤ
9	トライアル	—	牧ヤン直前のトラブル発生!

※約120kmの道のりを2時間以内で、全車受付時間内に到着。トライアルは虫歯トラブルでルート変更を余儀なくされ、由医者に直行でマイナス・ポイント。

エスプリはエビスまでたどり着くが、ゼロヨンで燃費したエンジンが限界となり、残念無念の戦線離脱。



焦らず慌てず丁寧に、これがロングランの基本

あつ! 間違えた、えっこんな田舎で渋滞! 後ろでマッキーが怒ってる

石橋叩いてニヤウクラソー。完璧なルートと低燃費走法で960kmをなんなく走破。マイナス・ポイントなしはさすが。

最終道からR49号に下りる。地元でありGPS付きの超難関。横山、ゆうゆう先導するが、それが大きな間違いの元。マッキー、公助向井、いつまでもひとりぼっち北原が犠牲者。



豪雨に襲われ、全車ハイドロ気味で悪戦苦闘! まだまだひとりぼっち北原、たまらず北原道でハーフスピン。



こっちやうかー!



ハマッマ

ルート

エビス→TI

ロングラン・ツーリング960km イッ気イッ気

消費燃料

1	圭オフィス	93Q	超燃費クロスシフトで1位
2	マインズ	99Q	沈黙に走りGT-Rで9.5km/Q
3	トライアル	105Q	反省し燃費走行に徹する
4	ガレージ横井	103Q	GPSに頼ってハマル
5	レイズ	120Q	スーブラで燃費8をキープ!!
6	HKS関西	123Q	友情芽生え減点覚悟でルート変更
7	ブリッツ	—	急用によりやむなくルート変更
8	Dai	—	飛ばし過ぎで申告漏れ

※ガレージ横井、トライアル、圭オフィス、単なる付き合いの関西がルート変更でマイナス・ポイント。この中の3台は受付時間内に到着できず、さらにマイナス・ポイント加算で大減点。

ハローダイヤルで確認しますわー

ひとりぼっち北原、敢闘賞!



交通安全Dai稲田!! 事故なきことが一番だね



この日本版キャノンボールでボクが一番やりたかったこと、そして一番心配したこと、がこのツーリング・ステージだった。各ステージを結ぶ一般公道は短くて120km、最長が3日目の福島工

ビスサーキットから岡山サーキットまでの約960kmだ。なんでもこんなロングツーリングにこだわったかというと、日本の高度成長時代の中、ボクたちはクルマを貴重なモノ、あるいは性能至上主義、走りの追求というところから楽しんできた。これはこれでいいんだけど、A点からB点への便利な道具としてや人間の足としてのクルマの基本を忘れていたような気がしてならない。ボクはオーストラリアのキャノンボールに出て思い出した。ロングドライブは運転の楽しみとともに一種のクルマとの格闘でもある。これをチューナーにも味わってもらいたかった。そのバックボーンにある交通安全というテーマとともに。



夜になっても、ツーリングはだんだんと続く。